

優れた道産品を台湾へ

～苫小牧港から冷凍混載輸送サービスを提供します～ 後援:JETRO 北海道

北海道の優れた農水産品や加工品等の輸出を一層拡大するためには、大口貨物の海上コンテナ輸送に加え、小ロットの貨物輸送に対応可能な「小口混載輸送サービス」の提供が求められています。

このため当社は、苫小牧港利用促進協議会による支援事業を活用して、2023年4月から2024年3月まで毎月1回、苫小牧港から台湾台北CFSに向けて、定期的に小口貨物の冷凍混載輸送サービスを提供いたします

ご利用されたい方、ご興味のある方は、弊社ホームページ及び以下の相談窓口にご遠慮なく、お問い合わせ・ご相談ください。



<輸出スケジュール 苫小牧-台湾/台北CFS>

	2023年									2024年		
OPEN日	4/17	5/22	6/19	7/24	8/21	9/15	10/23	11/17	12/18	1/22	2/16	3/15
CUT日	4/19	5/24	6/21	7/26	8/23	9/20	10/25	11/21	12/20	1/24	2/20	3/19
出港日	4/25	5/30	6/27	8/1	8/29	9/26	10/31	11/28	12/26	1/30	2/27	3/26
入港日	5/4	6/8	7/6	8/10	9/7	10/5	11/9	12/7	1/4	2/8	3/7	4/4
CFS着	5/8	6/12	7/10	8/14	9/11	10/9	11/13	12/11	1/8	2/12	3/11	4/8

※上記スケジュールにて予定しておりますが、荒天や本船遅延、船社都合により、スケジュールが変更となる場合がございます。

<お問い合わせ/ご相談窓口>

ナラサキスタックス株式会社 札幌支店 国際営業部 国際営業課

担当：加藤、山本、飛島

TEL：011-261-7889 FAX：011-241-0730

(ホームページ) <https://www.narasaki-stax.co.jp/>

<主な輸送条件>

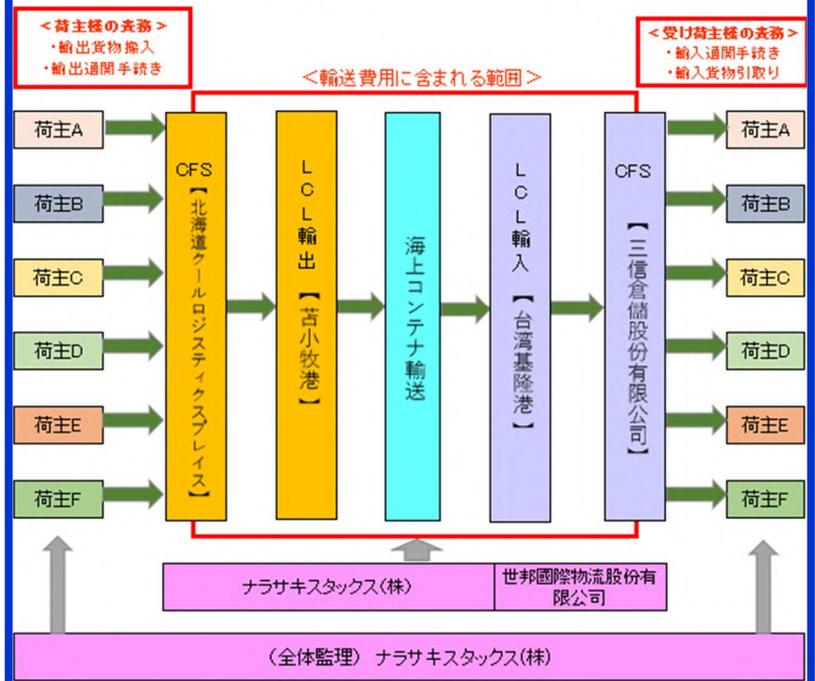
▼混載輸送サービスの範囲

- ・ 苫小牧港 CFS (北海道クールロジスティクスプレイス) の荷受けから、台湾台北 CFS (三信倉儲股份有限公司) の荷渡しまで

▼輸出入手続き

- ・ 輸出通関手続きは、荷主様で対応願います (当社は輸出通関手続きが可能です、お困りの場合は、ご相談ください)
- ・ 台湾での輸入手続きは、現地の受け荷主様にて対応願います

<混載輸送サービスの範囲>



▼貨物の基本条件

- ・ 日本、台湾で禁輸でないこと、陸上・海上輸送法の危険品でないこと
- ・ 動植物検疫等特殊な規定のないこと
- ・ 冷凍輸送温度 (-20℃を想定) に適していること
- ・ 海上輸送 (輸出) に適した梱包が行われていること
- ・ 混載輸送を行う際、他の貨物に悪影響を与えることがないこと

▼貨物の単位/重量条件

- ・ 貨物は、「RT (REVENUE TON)」 (重量と容積の大きい方) 単位 (ミニマム: 1 RT (1m³ or 1,000kg))
- ・ 重量は、単体で 2,000kg 以内
- ・ サイズは、一辺が 200cm を超過する場合はご相談ください

▼コンテナ船出港日/輸出手続き

- ・ スケジュールは記載の通りの予定としますが、気象海象条件等により変更になる場合があります
- ・ なお、通関及び書類、CFS 入庫は基本的に出港日前週の月曜日～水曜日とします

▼リードタイム

- ・ 苫小牧港出港から台湾台北 CFS まで 13 日間を想定しています

▼輸送費用

(内訳) 海上運賃: 1RT 当たり USD250、PSS: USD20 (変動制)、CFS CHARGE: JPY12,000/RT、B/L FEE: 別途